

街の灯り

作詞…阿久悠
作曲…浜圭介

そ沈みば誰かいない胸いと
 まいる海潮がひいたあとの
 暗い海のよゆうにいたあとの
 心なる肩のぬくもり
 感ひとなるがら話をする
 もはつともつらと出来るならば
 今それでも窓にいさるならば
 息はくもれでいと書いた
 君の名も指で窓に書いた
 あつと名前も指で窓に書いた
 そつとい葉迷いたながら
 街の灯りちさらさやく
 あは灯りちさらさやく
 愛がはつむめばえそ
 胸がはつむめばえそ

好きな唄を耳のそばで
 君の唄を低く歌い
 あまの涙にそいくが
 そまの待たさいくが
 街の灯りちさらさやく
 あは灯りちさらさやく
 愛がはつむめばえそ
 胸がはつむめばえそ

街の灯り

作詞…阿久悠
作曲…浜圭介



そばに誰かいないと
沈みそうなこの胸
まるで潮がひいたあとの
暗い海のように
ふれる肩のぬくもり
感じながら話を
もっともっと出来るならば
今はそれでいいさ
息でくもる窓に書いた
君の名前指でたどり
あとの言葉迷いながら
そっといった
街の灯りちらちら
あれは何をささやく
愛が一つめばええそうな
胸がはずむ時よ

街の灯り

作詞…阿久悠
作曲…浜圭介

好きなきを耳のそばで
君のために低く歌い
あまい涙さそいながら
そして待った
街の灯りちらちら
あれは何をささやく
愛が一つめばえそうな
胸がはずむ時よ